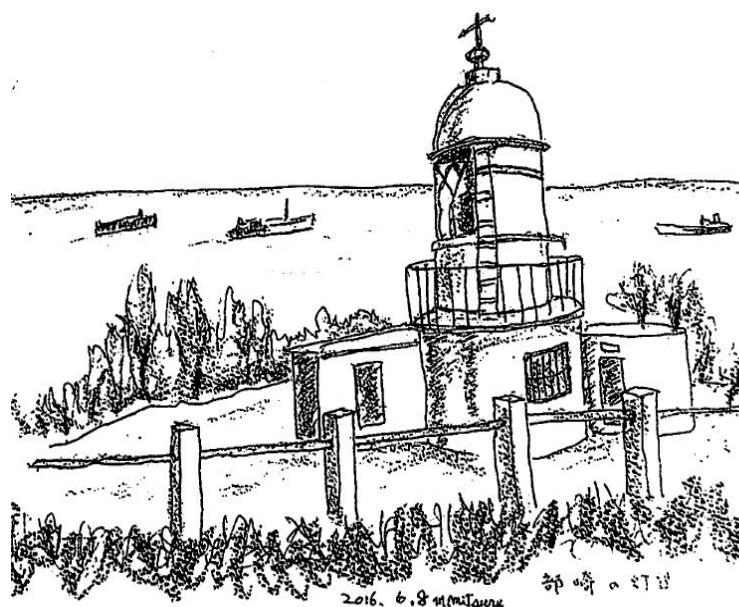


週報2021年5月9日



2021年教会標語聖句

見よ。わたしは新しい事をする。
今、もうそれが起ころうとしている。

イザヤ書4章19節

シオン教会信仰指標：“イエス様と共に歩む”

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団

北九州シオン教会

牧師：山崎銀次郎

<http://jesus.holy.jp/>

〒800-0038 北九州市門司区大里原町 6-10

TEL 093-381-4395(FAX…4396)

牧師携帯 090-6737-5276



礼拝順序 2021年5月9日

ピアノ：赤松真佐子 姉 オルガン：力丸勝子 師

司会：吉田 到 兄 献身の祈り：坂本良男 兄 メッセージ：山崎牧師

開会の祈り

信仰告白 使徒信条・標語聖句唱和

賛美 新聖歌 265「世人のとがのために」

特別賛美 讀美歌 510「まぼろしのかけをおいて」(吉武姉)

お証 (小松姉)

祈祷 *今日までのめぐみに感謝し、新たな献身を祈りましょう！*

祈祷 献身のお祈り

賛美 新聖歌 216「ここにまことの愛あり」

賛美 コーラス 16「マジエスティ」

聖書朗読 コロサイ人への手紙3章 12-15 節

説教題 「愛は結び合う事で強くなる」

祈祷 御言葉の応答の祈り

頌栄 「主の祈り」

祈祷 祝福と派遣の祈り(山崎師)

交わりの三省

*互いに愛し合っていますか

*互いに赦し合っていますか

*互いに祈りあってますか

説教要約

コロサイ人への手紙 3章 12-15節 「愛は結び合う事で強くなる」

① 人は愛（の祈り）によって養われる

コロサイ書はコロサイ教会の創設者エパフラスが獄中にいたパウロを訪問し、牧会のアドバイスを求めて、それにパウロが応答して書いたものです。この手紙の中でエパフラスの信徒に対する愛（の祈り）が書かれています。彼の願いは全ての人が神の御旨を悟る事です。（4:12）そしてパウロの祈りの内容もこの手紙には書かれていますが、同じ祈りをしています。（1:9）つまりエパフラスとパウロの祈りは“コロサイの信徒達がキリストに深く根差して、その人生の中で愛と赦しを学び、共にキリストの弟子として成長すること”です。それがあらゆる外側の問題（迫害や信仰生活の中で抱える不安）に勝利する秘訣だとパウロはコロサイ書で教えてています。このように、私達は愛の祈り手によって信仰生活が支えられ、養われます。そしてそのことを信仰生活の中で悟る時、上にあるもの（愛）が偉大な力だと悟ります。つまり、祈り手の愛によって、“信仰生活は自立する”のです。祈り手の忍耐と赦しの伴う愛が、次世代の信仰へと継承されます。言い換えると“祈られた人が、祈り手”へと変えられていきます。信仰者の中で養われていない人は一人もいません。イエス様の愛の中で“祈り手”へと変えて頂きましょう。

② 愛は結び合う事で強くなる

エパフラスが訪問の際、報告した教会の実状は“コロサイの教会は愛の交わりがなされている”でした。そしてそれと同時に、“多神教の教えと厳格かつ異端的なユダヤ教の教えの狭間でプレッシャーを受けている”と報告したようです。これは推測ですが（手紙の内容を基にした考察）、コロサイの人達はその問題によって教会内で人間関係の問題（おそらく格差による差別や人間関

係の亀裂）が生じていたと考えられます。いずれにしても、パウロの最も重要な教えは“キリストの愛によって互いに結びあわされる”ということです。前回私達はヤコブ書から「試練は神の信頼を」学ぶチャンス”という事を学びました。コロサイ書が教えてている事は“試練や問題は神と人との結びつきを強めるチャンス”です。つまり問題を通じて、キリストの愛に根差して、愛の絆をさらに強固なものにしなさい。これがパウロの教えたかったことです。言い換えると、問題に囚われてはいけません。問題は神の信頼（愛）を見失うという事です。神の愛と計画は決して変わりません。その信頼が横の（人間関係の）つながりの中で新しい信頼（関係）と愛を生み出します。

① 愛は関係性の中で成長する

結論としてコロサイ書が言う、信仰者の成長は“キリストの平和（のご支配）の内に一体となる”という事です。これがキリストの愛に与る者の最終到達点です。ですから、コロサイ書 3 章 8 節の深い同情心、慈愛、謙遜、柔和、寛容は結び目をつける（つまり一体となる為に）必要な性質、品性だという事がわかります。つまり、信仰者にとって品性を身に着けることがゴールではなく、品性が（関係性の中で）養われることを通じて、教会が一体というゴールに向かって行く。これがパウロの伝えたかった奥義です。（愛は結びの帶として完全なものです）

コロサイ書の強調点は「あなたの中心を間違えないように」という事です。しきたりや文化を守る事が中心になったり、忍耐そのものが中心になったり、自分の力で完璧を目指すと、関係を築くという最も大切な事が人生の中でおろそかになります。しかし、逆にどんな時も、変わらない愛を見上げ、愛を学ぶ機会、上記の品性を学ぶ機会を頂いた感謝！という生活が中心になると、おのずと神様と人とのつながりが豊かにされます。これは生活の知恵以上に、神の知恵です。上にあるもの求めの信仰生活へと聖霊様によって変えて頂きましょう。教会（もちろん私も含む）が神のみ旨を悟る事を祈りつつ。